

田中淑恵

メゾ・ソプラノ リサイタル

Yoshie Tanaka
Mezzo Soprano
Recital

～まぶたに映る 心の風景～

山田耕筰：赤とんぼ
Kosaku Yamada : Akatombo
滝廉太郎：荒城の月
Rentaro Taki : Kojyo no tsuki
平井康三郎：平城山
Kozaburo Hirai : Narayama
山田耕筰：鐘が鳴ります
Kosaku Yamada : Kane ga narimasu
山田耕筰：待ちぼうけ
Kosaku Yamada : Machiboke

F.トスティ：はるかに
F.Tosti : Lungi
F.トスティ：秘密
F.Tosti : Segreto
F.トスティ：セレナータ
F.Tosti : La Serenata

～ビゼー没後 150 年に寄せて～

J.ブラームス：8つのジプシーの歌
J.Brahms : Zigeunerlieder
ビゼー：オペラ「カルメン」より
G.Bizet : from Opera 'Carmen'



ピアノ：飯田佳代子
Piano : Kayoko Iida

2025 年 12 月 7 日 (日)

14:00 (13:30 開場) 銀座・王子ホール

14:00 Sunday, 7th December 2025 Oji Hall

全席自由 一般 5,000 円 学生 3,000 円

チケット
取扱先

チケットぴあ
王子ホールチケットセンター

<https://t.pia.jp/> (Pコード 309-690)
<https://www.ojihall.jp/ticket/howto.html>
TEL 03-3567-9990(10:00～18:00 土日祝休)

後援：



公益社団法人日本演奏連盟、日唄文化協会 協力：田中淑恵後援会

マネジメント：Artiffinity アーティフィニティ info@artiffinity.com 03-6780-2299



「ビゼー」ひとくちメモ

ジョルジュ・ビゼー Georges Bizet (1838～1875 フランス) の一番印象に残る作品と言えば、やはりオペラ史の中でも画期的な傑作で、ウィーンでも最大級の上演回数を獲得し大成功を収めた『カルメン』でしょう！今年はそのビゼーの没後 150 年にあたります。

この『カルメン』とビゼーには悲しい話があります。1875 年パリでの初演は、舞台上での殺人やヒロインの自由奔放な生き方などが当時の保守的な観客に受け入れられず不評に終わりました。この初演の 3 ヶ月後、ヒット作が少なかったビゼーは、失意の中 37 歳の若さで心臓発作でこの世を去り、1879 年のウィーンでの大成功、大観衆の割れんばかりの拍手を聞くことはありませんでした。

『カルメン』と共に後世に残るビゼーの 2 大傑作といえば管弦楽組曲『アルルの女』ですね。アルフォンス・ドーデの短編小説『アルルの女』に基づく戯曲上演のために 1872 年に作曲されたのですが、同じ小説を元にしたフランチェスコ・チレア Francesco Cilea (1866～1950 イタリア) のオペラ『アルルの女』(1897) があります。私は日本初演でフェデリーコの母親役ローザ・ママイを演じました。息子フェデリーコのことをひどく心配し嘆き悲しむアリアは、ドラマティックで重いものでした。母親は結構な大役でしたが若かったから歌えました…ふふふ！

今はオペラとして上演されることは希有ですが、テノールのアリア「フェデリーコの嘆き(ありふれた話)」だけは有名で一人歩きしています。これを聴けばチレアの曲の美しさと重厚さを感じていただけるかも！

田中淑恵 Yoshie Tanaka, Mezzo Soprano

世界の権威ある国際コンクールの中でも、歴史と伝統ある難関なコンクールとして知られているミュンヘン国際音楽コンクールに 1980 年声楽部門で優勝を果たしヨーロッパでマスコミの話題となる。続いて同年、歌曲の最高傑作を生み出した、フーゴー・ヴォルフの国際歌曲コンクールでも優勝した。その才能はウィーンの大巨匠である故 イェルク・デームス氏にも認められ、初の日本人共演者となる。小澤征爾、ヘルベルト・ブロムシュテット他の指揮の下で国内外のオーケストラと共演するほか、ベートーヴェン「第九」、J.S. バッハ「マタイ受難曲」、マーラー「復活」、ヴェルディ「レクイエム」などのソリストとして、プッチーニ「蝶々夫人」、ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」、オッフェンバック「ホフマン物語」などのオペラでも活躍。バーンスタイン「キャンディード」、チレア「アルルの女」などのオペラでは日本初演のソリストとして、稀有な才能を遺憾無く発揮し好評を博す。「平安建都 1200 年記念・式典」、「戦後 50 年を記念する集い」において天皇皇后両陛下御前演奏の栄に浴す。

フェリス女学院高等学校を経て、国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院オペラ専攻修了。ウィーン国立音楽大学首席卒業。オーストリア政府より功労賞を受賞。日本演奏連盟会員。日本カール・レーヴェ協会幹事。国立音楽大学、同大学院元教授。

飯田佳代子 Kayoko Iida, Piano

長野県千曲市出身。長野県立小諸高等学校音楽科卒業。国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修ピアノ専攻卒業。上級アドヴァンストコース(アンサンブルピアノコース)修了。文化庁芸術家派遣事業「文化芸術による子どもの育成事業」、俳句「岳」45 周年記念祝賀会演奏等、伴奏者として様々な演奏会に出演。2018 年に札幌に移住し、クラシック・エンターテインメントグループ“それいけ！クラシック”初の札幌公演、札幌市文化芸術劇場 hitaru オペラプロジェクト『ドン・ジョヴァンニ』アシスタントピアニスト、時計台、ふきのとうホール等、様々な場所で演奏活動の幅を広げている。声楽グループ“Chor stella”でのリモート演奏で伴奏を担当し、動画は Chor stella ホームページ内の video や YouTube [Chor stella remote session] にて公開中。

HBC 北海道放送のラジオ『曹洞宗の時間』(毎週日曜日 6 時 15 分～)の BGM を作曲し、本人演奏が現在番組内で使用されている。北海道シューマン協会会員。これまでに上原真知子、吉田たまき、平島誠也、河原忠之の各氏に師事。



銀座王子ホールへのアクセス

- JR 有楽町駅
銀座口から徒歩 7 分
- 地下鉄 銀座駅
A12 出口から徒歩 1 分
- 地下鉄 銀座一丁目駅
8 番 出口より徒歩 5 分
- 地下鉄 東銀座駅
A2 出口から徒歩 2 分